

ISSN 2435-2268

令和4年度

宮崎文化振興協会研究報告書

公益財団法人 宮崎文化振興協会

ごあいさつ

本研究は、「学術及び科学技術、文化及び芸術の振興を図り、豊かな人間性と創造性を備えた人材の育成と文化の香り豊かなまちづくりに寄与すること」を目的に、平成24年度「公益財団法人宮崎文化振興協会研究事業」としてスタートし11年目を迎えました。

本年度は①経営部門、②歴史・文化部門、③自然科学部門、④施設管理部門、⑤催事等実施報告部門の全ての研究部門に渡り8つのテーマに基づく研究報告が提出されており、その成果を広く知っていただきたく報告書としてまとめたところであります。

それぞれの研究は、各職員が日常の業務において気が付いた疑問や問題点・課題にしっかりと正対し、その対応策や改善策を深く研究したものであります。その研究成果は、直ちに業務改善が図れるものや、時間をかけて改善していくもの、更に研究を深化させるものなど様々ですが、すべてが宮崎文化振興協会の理念を具現化させ、協会運営に有益な内容となっております。

長引くコロナ禍のなかで、通常業務に加えての感染対策の徹底に時間を割かれたこと、県外等の先進施設への訪問が制限されたこと、更には来館者との接触にも制限が加わることなど、研究目的の達成には極めて不利な状況でしたが、各職員とも意識を高く持ち取り組んでくれました。この工夫・改善して行こうという一人一人の思いの積み重なりが、全職員の業務への熱量を高め、来館していただくお客様の満足へと繋がっていくものと確信しております。

是非、本報告書をご一読いただき、ご意見やご感想をいただければ幸いです。最後に、今回、日常業務で大変忙しいなか、研究に取り組んでいただいた職員の皆さんに敬意を表しますとともに、ご協力いただいた関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和5年3月吉日

公益財団法人 宮崎文化振興協会
理事長 高島 弘行

目次

1. 研究論文

経営部門

《大淀川学習館》

大淀川学習館を利用する聴覚に障がいのある方への対応 . . . 1

歴史・文化部門

《宮崎市生目の杜遊古館》

来館者のニーズに寄り添うことで歴史館利用者数を増やすとともに
歴史に学ぼうとする人材を育てる体験学習指導の在り方について . . . 6

自然科学部門

《大淀川学習館》

水生生物における生体管理システムの構築について
～病気の蔓延対策・対応マニュアル作成を通して～ . . . 12

施設管理部門

《協会事務局》

小・中学校に配備された一人一台のタブレット端末の
宮崎科学技術館での活用について . . . 19

催事等実施報告部門

《宮崎科学技術館》

様々な機材での電視観望の実践 . . . 24

ロケットに関するサイエンスショーの実践報告 . . . 30

《大淀川学習館》

「触れて」楽しむ活動の充実に向けて . . . 35

大淀川学習館周辺にいる生き物の効果的な情報発信について
～来館者のニーズに合わせた生き物マップ作成を通して～ . . . 41

2. 審査会講評 . . . 46

3. 先行研究一覧 . . . 52

1. 研究論文

